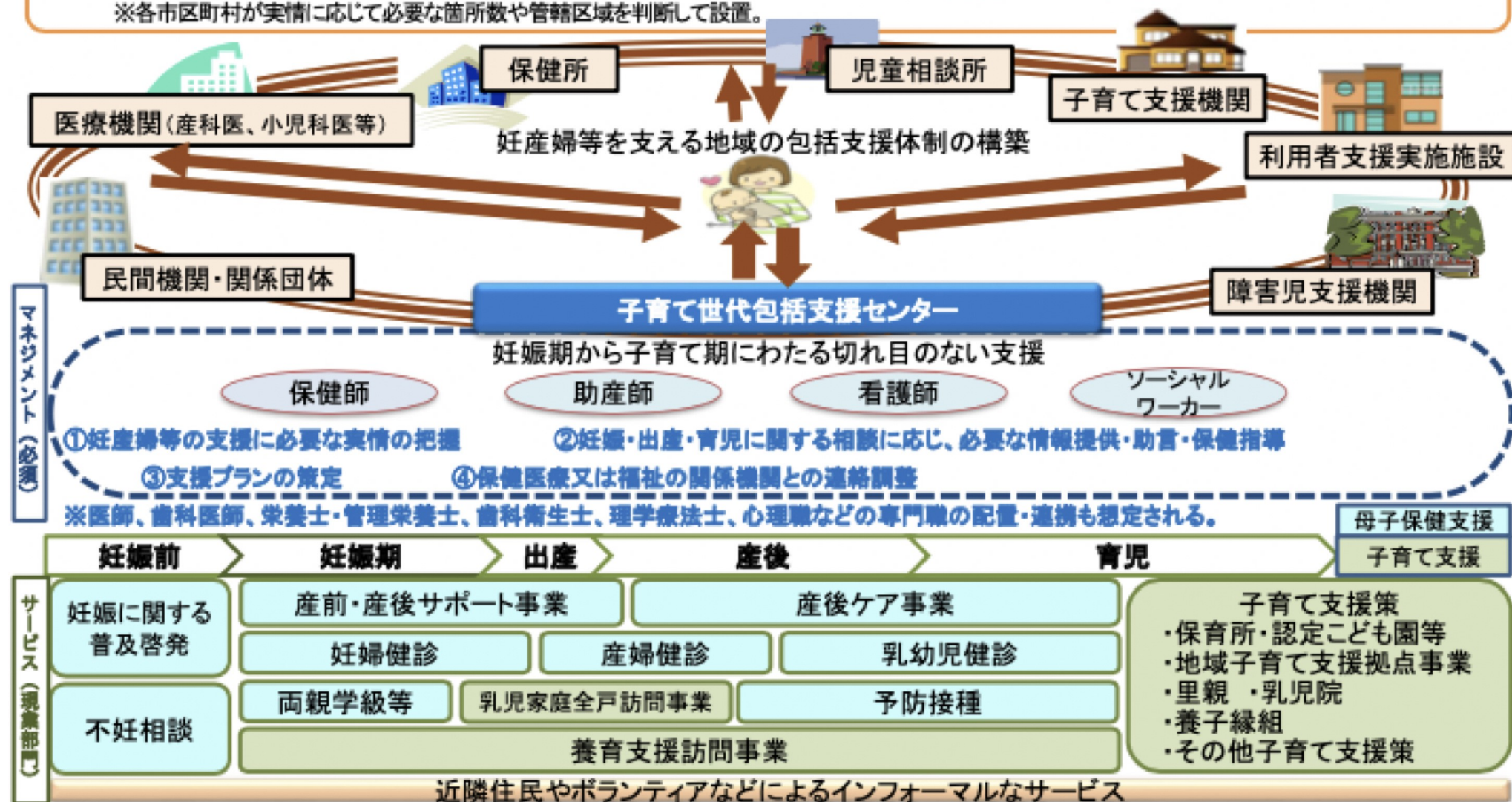


# 公立保育所における「CLM」実地運用の 状況報告および意見交換会

2021.3.15

# 子育て世代包括支援センターの全国展開

- 妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を提供できることを目的とするもの
- 保健師等を配置して、妊産婦等からの相談に応じ、**健診等の「母子保健サービス」と地域子育て支援拠点等の「子育て支援サービス」を一体的に提供**できるよう、必要な情報提供や関係機関との調整、支援プランの策定などを行う機関
- 母子保健法を改正し、子育て世代包括支援センターを法定化(2017年4月1日施行)(法律上は「母子健康包括支援センター」)  
 > 実施市町村数: 761市区町村(1,436か所)(2018年4月1日現在) > **2020年度末までに全国展開**を目指す。  
 ※各市区町村が実情に応じて必要な箇所数や管轄区域を判断して設置。



## 巡回支援専門員整備事業【拡充】

発達障害等に関する知識を有する専門員（※1）が、保育所や放課後児童クラブ等の子どもやその親が集まる施設・場を巡回し、施設のスタッフや親に対し、障害の早期発見・早期対応のための助言等の支援（※2）を行う。

※1 「発達障害等に関する知識を有する専門員」

- ・医師、児童指導員、保育士、臨床心理技術者、作業療法士、言語聴覚士等で発達障害に関する知識を有する者
- ・障害児施設等において発達障害児の支援に現に携わっている者
- ・学校教育法に基づく大学において、児童福祉、社会福祉、児童学、心理学、教育学、社会学を専修する学科又はこれに相当する課程を修めて卒業した者であって、発達障害に関する知識・経験を有する者

（専門性の確保）

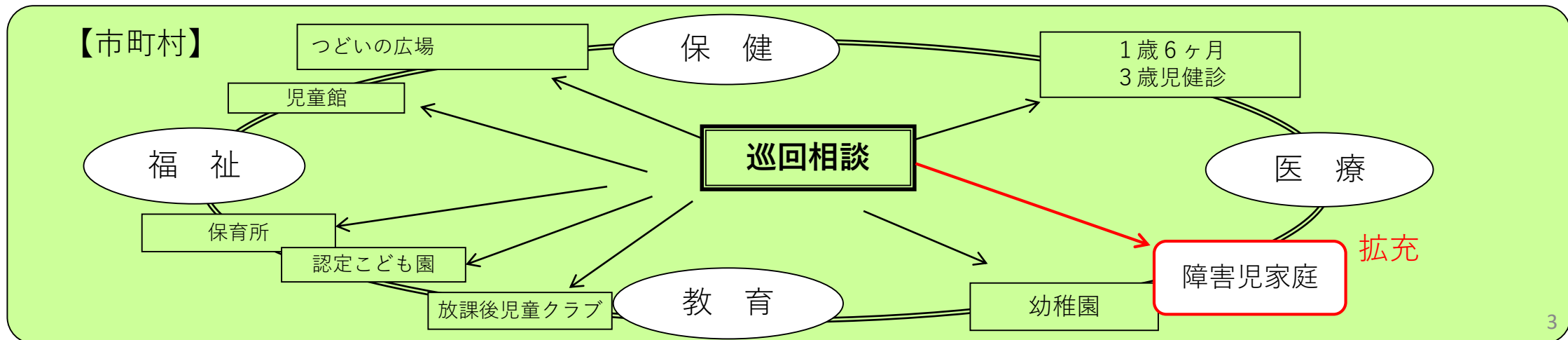
専門員は、国立障害者リハビリテーションセンター学院で実施している発達障害に関する研修や地域の発達障害者支援センター等が実施する研修等を受講し、適切な専門性の確保を図る。

（戸別訪問等を実施する場合）

専門員は、障害児支援に関する知識及び相当の経験を有する児童指導員、保育士、理学療法士、作業療法士又は公認心理師等を想定。

※2 「障害の早期発見・早期対応のための助言等の支援」の例

- ・親に対する助言・相談支援
- ・児童相談所や発達障害者支援センター等の専門機関へのつなぎ
- ・M-CHATやPARS-TR等のアセスメントを実施する際の助言
- ・ペアレントトレーニング（ペアレントプログラム）の実施
- ・ペアレントメンターについての情報提供





## 障害児支援の体系⑥～保育所等訪問支援～

### ○ 事業の概要

- ・ 保育所等を現在利用中の障害児、又は今後利用する予定の障害児が、保育所等における集団生活の適応のための専門的な支援を必要とする場合に、訪問支援を実施することにより、保育所等の安定した利用を促進。

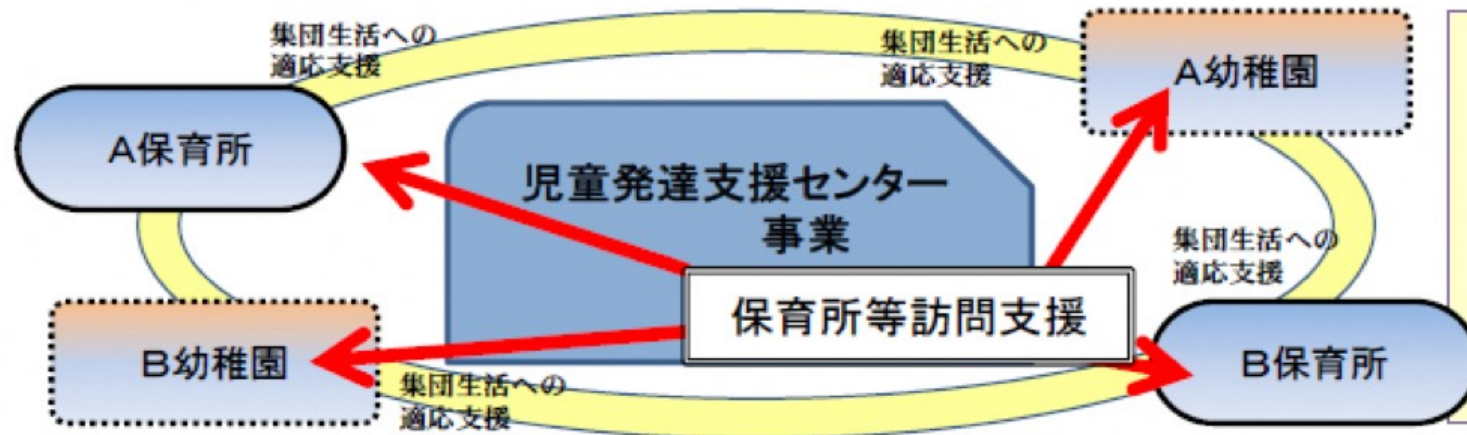
### ○ 対象児童

保育所や、児童が集団生活を営む施設に通う障害児

＊「集団生活への適応度」から支援の必要性を判断

＊ 発達障害児、その他の気になる児童を対象

相談支援事業や、スタッフ支援を行う障害児等療育支援事業等の役割が重要



### ○ 訪問先の範囲

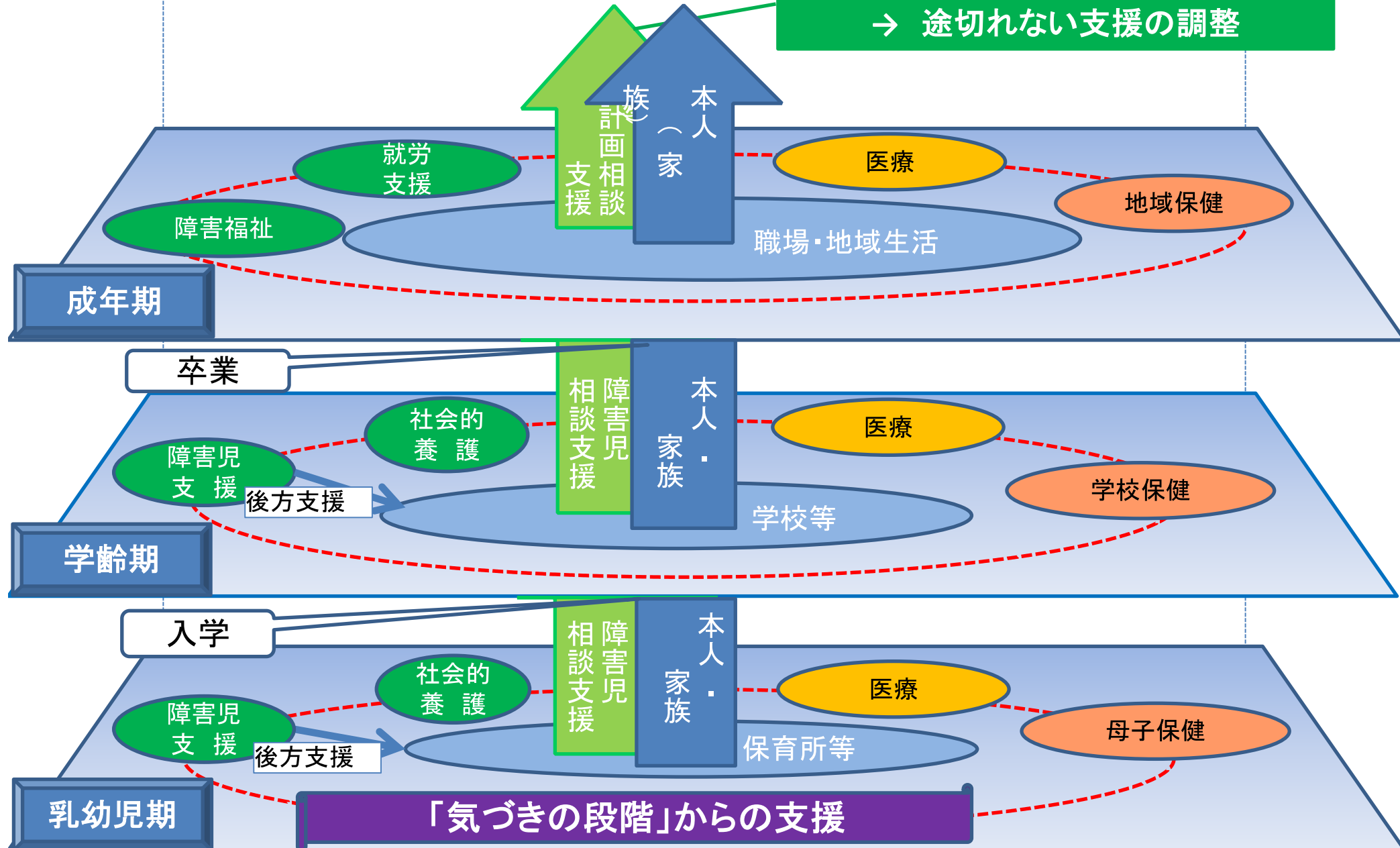
- ・ 保育所、幼稚園、認定こども園
- ・ 小学校、特別支援学校
- ・ (H30より追加) 乳児院、児童養護施設
- ・ その他児童が集団生活を営む施設として、地方自治体が認めたもの

### ○ 提供するサービス

- ◆ 障害児が集団生活を営む施設を訪問し、当該施設における障害児以外の児童との集団生活への適応のための専門的な支援等を実施。
  - ① 障害児本人に対する支援(集団生活適応のための訓練等)
  - ② 訪問先施設のスタッフに対する支援(支援方法等の指導等)
- ◆ 支援は2週に1回程度を目安。障害児の状況、時期によって頻度は変化。
- ◆ 訪問支援員は、障害児施設で障害児に対する指導経験のある児童指導員・保育士(障害の特性に応じ専門的な支援が必要な場合は、専門職)を想定。

## 地域における「縦横連携」のイメージ

関係者間の共通理解・情報共有  
→ 途切れない支援の調整



# ※インシデントプロセス法

質問をすることで情報を収集し、それに基づいて問題を分析し、対策を考える。  
「事例提供者の準備が大変」「関係しない参加者が意欲的に参加できない」を  
解決する方法。できるだけ準備や手間をかけないで進める方法。

## ●進め方

①事例提供

②情報収集

③対応策、方針

- ・具体案「私ならこうする」というアイデアを発表する

④事例提供者の感想

- ・お礼
- ・今回学んだこと
- ・感想

# ※インシデントプロセス法

質問をすることで情報を収集し、それに基づいて問題を分析し、対策を考える。  
「事例提供者の準備が大変」「関係しない参加者が意欲的に参加できない」を  
解決する方法。できるだけ準備や手間をかけないで進める方法。

## ②情報収集

### 〈参加者〉

- ・簡潔に、具体的に質問する
- ・質問を独占しない
- ・他参加者と協力して関連した質問をする
- ・重複した質問は避ける
- ・回答中に割り込んで質問しない
- ・解決に関係があると思われる事実を集める
- ・今後の対応については質問しない
- ・パスもあり

### 〈事例提供者〉

- ・事実を簡潔に回答する
- ・質問から外れた回答はしない
- ・推測、意見は原則言わない
- ・推測を答える時は、その根拠となる事実や理由を簡潔に説明する
- ・今後の対応については言わない

# **CLM**実践報告

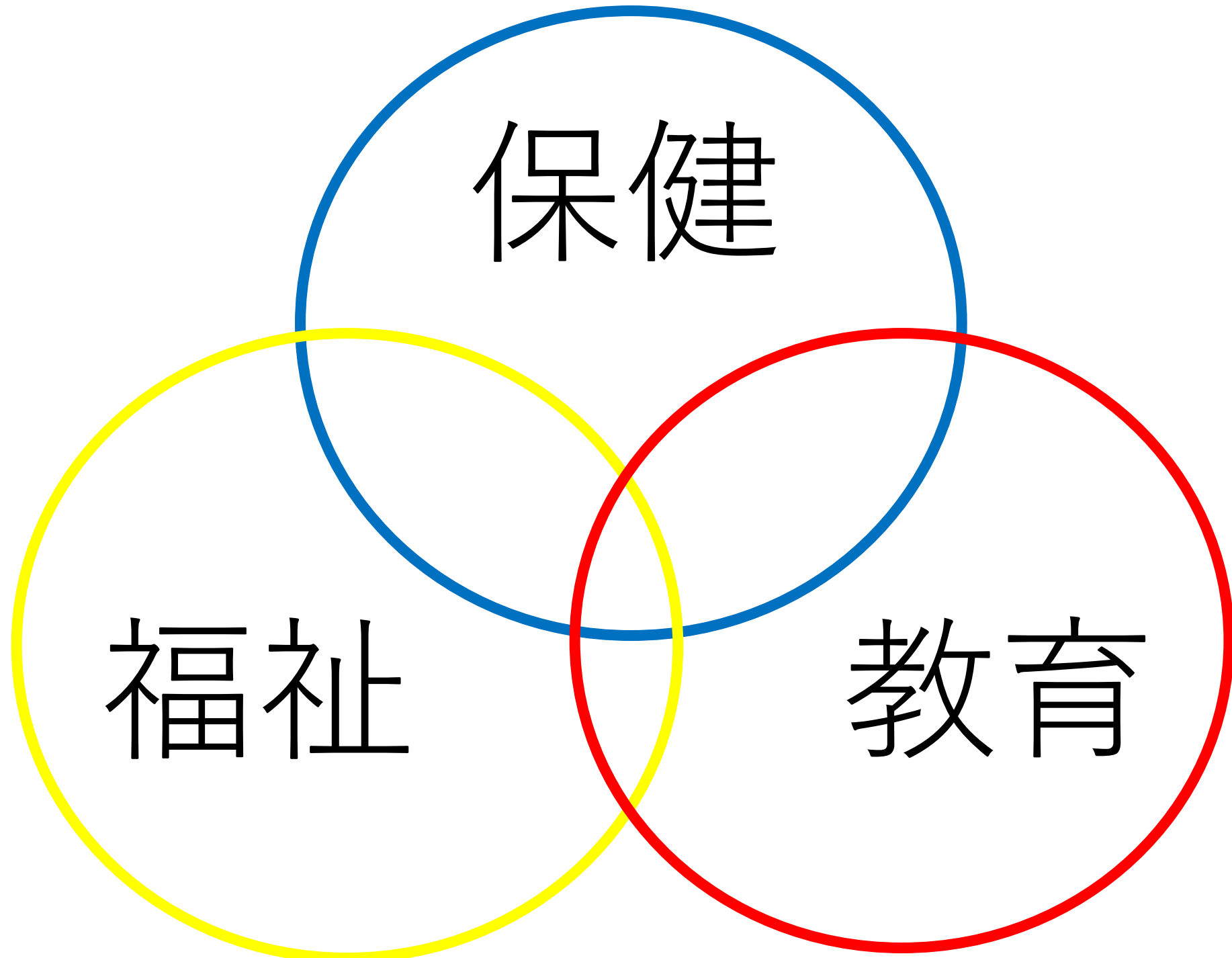
---

～事例：藤沢第二保育所～



# CLMとは？

- 「保健・福祉・教育」の各分野の担当が連携し、集団の中で児童に対する**個別支援計画**を立てるためのツールです。
- 「チェック（C）・リスト（L）・in三重（M）」の頭文字から「CLM」と名前がついています。



# 集計表

市町名[	]	園名[	]
名前[	]	男・女	年 月 日生 ( 歳 か月)

	項目	担任					合計
1	登園、降園の支度など一連の動作が途切れやすい						
2	先生の指示を聞いて行動できない						
3	「～して」「やめて」など、自分の思いを言葉で表現できない						
4	「かして」「かわって」『いいよ』『まってね』など、やりとりをしてあそべない						
5	集団活動に最後まで参加できない						
6	次の行動への切りかえにくさがある						
7	気に入らないとかんしゃくを起こしたり、泣き叫んだりする						
8	落ち着きがなく、よく動く						
9	過敏性がある						
10	友だちとの関わりが見られず、一人でいることが多い						
11	積木やブロックを物に見立ててあそぶことがない						
12	手あそびなどの模倣ができない						

<b>【判断基準】</b>			
全くない：1	あまりない：2	少しある：3	よくある：4
(全く見られない)	(週1～2回)	(週3～4回)	(毎日見られる)

絞り込み表

チェック項目	得点	担任が一番 気になる項目
項目番号 (     )		
(     )		
(     )		
(     )		
(     )		



## 要因と支援の相関表

チェック項目 ( )
エピソード
目標

要因	環境の整え	クラス全体の支援	個別の支援
①			
②			
③			

【計画のまとめ】

いつ

どこで

だれが

だれに

何を

何回

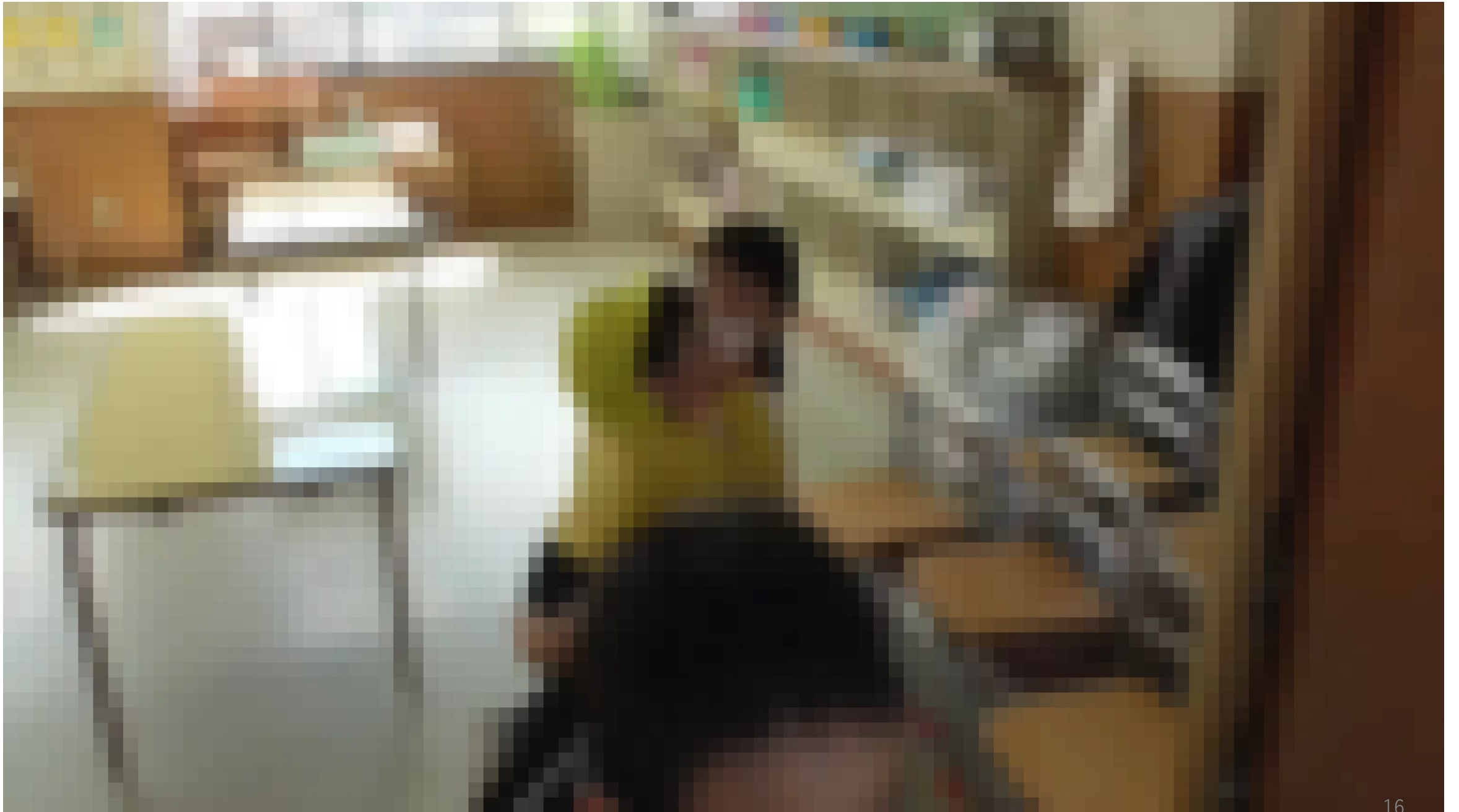
準備物

\*目標・指導計画は、すぐに実践できる具体的な内容にします。 記入日： 年 月 日 記入者（ ）

名前：（ 歳 か月）		市町名（ ） 園名（ ）				
チェック項目 （ ） エピソード		要因				
目標						
期間	具 体 的 な 指 導 方 法		結 果 ・ 評 価			
	<クラス環境の整えとクラス全体の支援>	<個別の支援>	月日	○×	特記事項	
						評価日：

# 支援前の姿

- ・保育士の声掛けがないと、  
室内を歩き回ったり、  
ボーっとすわったりし、  
着替えが進まない。





## 要因と支援の相関表

<b>チェック項目</b> (1) 登園、降園の支度や給食の準備など一連の動作が途切れやすい
<b>エピソード</b> 保育士の声掛けがないと、室内を歩き回ったり、ボーっと座ったりし、着替えが進まない
<b>目標</b> 自分の力でスムーズに着替えをする

要因	環境の整え	クラス全体の支援	個別の支援
① 気持ちがない ↓ 気持ちがのればいい	マークを書くボード、ペンを準備する	入室前に、着替え終わったらごほうびマークを書いてもらえることを伝える	ごほうびマークを書いてもらえることを伝える
② いつまでに着替えていいかわからない ↓ 着替えの終わりが分かればよい	タイムタイマーを掲示する	タイムタイマーを掲示し、着替えの始まりと終わりを知らせる	個別にタイムタイマーを見せる タイムタイマーを使って始めと終わりが分かるようにする
③ 周りの物が気になる ↓ 周りの物が気にならなければよい	着替えに集中できる場を作る 着替える場所を固定する	着替えるスペースを決める	着替える場所を一緒に決める

記入日：      年      月      日      記入者（      ）

【計画のまとめ】 いつ入室時 どこで保育室 だれが担任

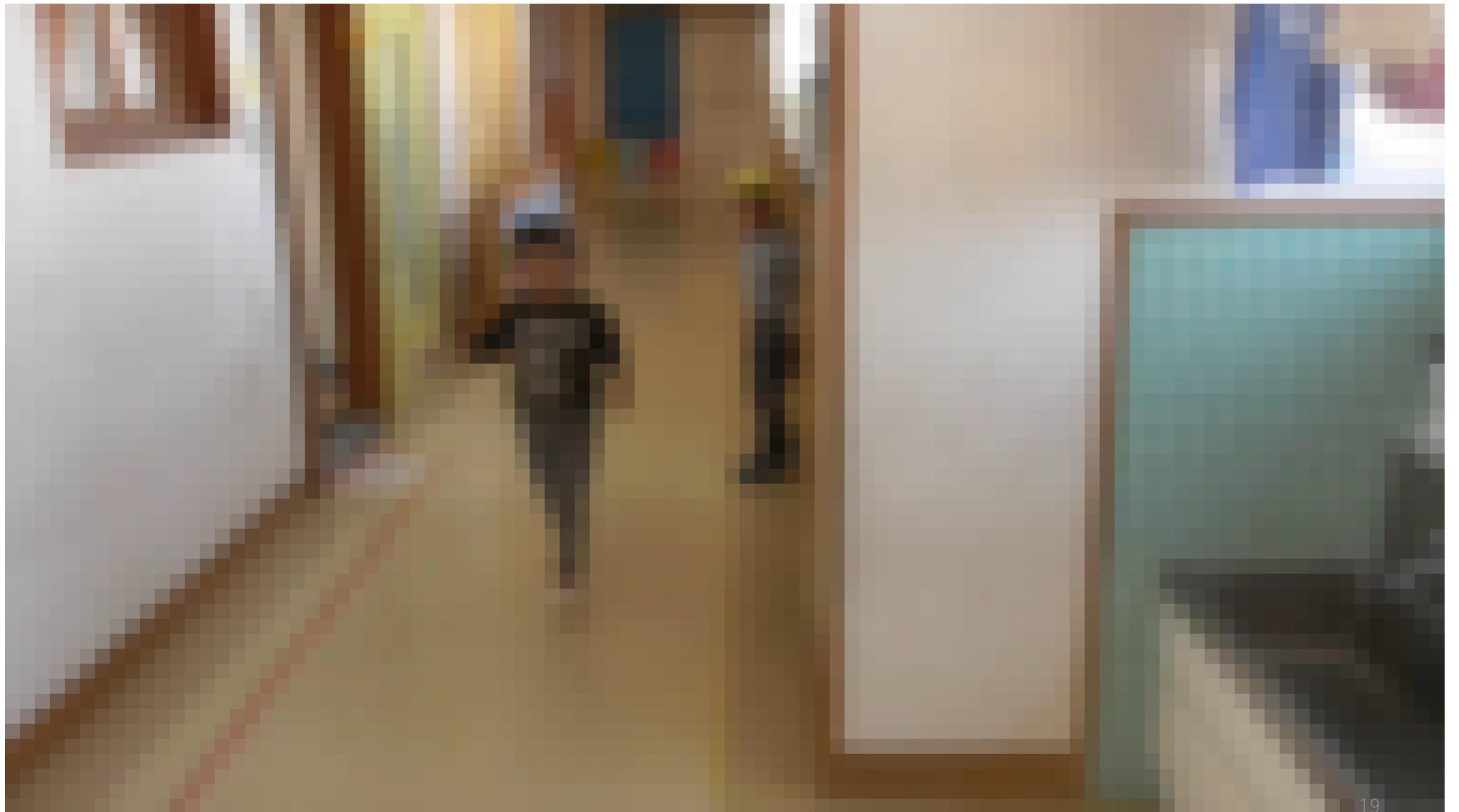
だれに Rくん 何を 自分の力で着替えをする支援

何回 準備物 タイムタイマー、ホワイトボード、ペン

名前：Rくん（ 4歳 8か月）		市町名（ 入間市 ） 園名（ ）			
チェック項目 （１）登園、降園の支度や給食の準備等一連の動作が途切れやすいエピソード 保育士の声掛けがないと、室内を歩き回ったり、ボーっと座ったりし着替えが進まない。		要因 ① 気持ちいがのらない。 ② いつまでに着替えていいかわからない。 ③ 周りの物が気になる。			
目標 自分の力でスムーズに着替えをする。					
期間	具 体 的 な 指 導 方 法		結 果 ・ 評 価		
	＜クラス環境の整えとクラス全体の支援＞ ・ ごほうびマークを書く準備をする。  ＜戸外遊び・片付け＞ ・ 入室前に着替え終わったらごほうびマークを書いてもらえることを伝える。 ・入室後、タイムタイマーを掲示して着替えの始まりと終わりを知らせる。  ・着替え終わったら、ごほうびマークを書いてもらう。 ・ 出来たことをほめる。	＜個別の支援＞ ・ 着替えの場所を一緒に決める。  ・ ごほうびマークを書いてもらえることを伝える。  ・ 個別にタイムタイマーを見せる。 ・ タイムタイマーを使って始めと終わりが分かるようにする。  ・ ごほうびマークを書いてもらう。  ・ 出来たことをほめる。	月日	○×	特記事項
			1 1 / 9	×	タイムタイマーが気になってしまう
			1 0		お楽しみ会の為 着替えなし
			1 1	×	タイムタイマーが気になってしまう
			1 2	○	ごほうびマークのバズライトイヤーに興味を持ち、着替えをすすめる
			1 3	○	保育士にそばにいてもらい着替えをすすめる
			1 6	○	保育士がそばにいても自分で着替える
			1 7	○	
			1 8	○	
			1 9	○	
			2 0	○	
			評価日：		

\*目標・指導計画は、すぐに実践できる具体的な内容にします。

記入日： 年 月 日 記入者（ ）



# 要因と支援の相関表

<b>チェック項目</b> (1) 登園、降園の支度や給食の準備など一連の動作が途切れやすい
<b>エピソード</b> 保育士の声掛けがないと、室内を歩き回ったり、ボーっと座ったりし、着替えが進まない
<b>目標</b> タイムタイマーを見ながら着替えをする

要因	環境の整え	クラス全体の支援	個別の支援
① 気持ちがない。 ↓ 気持ちがのればいい。	マークを書くボード、ペンを準備する。	入室前に、着替え終わったらごほうびマークを書いてもらえることを伝える。	ごほうびマークを書いてもらえることを伝える。
② いつまでに着替えていいかわからない。 ↓ 着替えの終わりが分かればよい。	時計の着替え終わりの時間の所に矢印を付ける。 タイムタイマーに R の好きなキャラクターを付けておく。	時計を使い、着替えの終わりの時間を知らせる。	個別にタイムタイマーを見せ、時間を R に決めてもらう。(2 択) タイムタイマーに貼ってあるキャラクターを使い、励ましの言葉をかける。
③ 周りの物が気になる。 ↓ 周りの物が気にならなければよい。	着替えに集中できる場を作る。 着替える場所を固定する。	着替えるスペースを決める。	着替える場所にテープで印をつける。 テープの色は R が選ぶ。



【計画のまとめ】 いつ 入室時 どこで 保育室 だれが 担任  
だれに Rくん 何を タイムタイマーを見ながら着替えをする支援  
何回 準備物 時計、矢印マーク、ホワイトボード、ペン、タイムタイマー、キャラクターマーク

名前：Rくん（ 4歳 10か月）		市町名（ 入間市 ） 園名（ ）			
チェック項目 （１）登園、降園の支度や給食の準備等一連の動作が途切れやすいエピソード 保育士の声掛けがないと、室内を歩き回ったり、ボーっと座ったりし着替えが進まない。		要因 ① 気持ちがのらない。 ② いつまでに着替えていいかわからない。 ③ 周りの物が気になる。			
目標 自分の力でスムーズに着替えをする。					
期間	具 体 的 な 指 導 方 法		結 果 ・ 評 価		
	＜クラス環境の整えとクラス全体の支援＞ ・ごほうびマークを書く準備をする。  ＜戸外遊び・片付け＞ ・入室前に着替え終わったらごほうびマークを書いてもらえることを伝える。 ・入室後、時計を使い着替えの終わりの時間を知らせ、矢印を付ける。  ・着替え終わったら、ごほうびマークを書いてもらう。 ・出来たことをほめる。	＜個別の支援＞ ・着替えの場所にテープで印をつける。 ・テープの色はRが選ぶ。  ・ごほうびマークを書いてもらえることを伝える。  ・個別にタイムタイマーを見せ、時間をRに決めてもらう。 ・タイムタイマーに貼ってあるキャラクターを使い、励ましの言葉をかける。  ・ごほうびマークを書いてもらう。  ・出来たことをほめる。	月日	○×	特記事項
			12/7	×	休み明け朝から機嫌が悪い
			8	×	保育士とスキンシップを取りながら着替えをすすめる
			9	○	タイマーに貼ってあるマリオに興味を持って着替えをすすめる
			10	○	忍者になりきりタイマーなしで着替え、集団に間に合う
			11	×	気持ちがのらず保育士と一緒にやる
			14	×	休み明け機嫌が悪い
			15	○	
			16	○	「先生が言わなくてもできる」と言いタイマーを見ながらすすめる
			17		クリスマス会の為 着替えなし
			18	○	
評価日：			月	日（ ）	： ～



# 支援後の姿

- ・「先生が言わなくてもできる。」と言えるほど自主的に行動できるようになった。

# 支援前の姿

- ・登園時に園庭を走り回ったり、  
テラスに座り込んだりし、  
なかなか保育室に入ることが  
できない。



## 要因と支援の相関表

<b>チェック項目</b> (1) 登園、降園の支度や給食の準備など一連の動作が途切れやすい
<b>エピソード</b> 登園時に園庭を走り回ったり、テラスに座り込んだりし、なかなか保育室に入ることができない
<b>目標</b> 登園時にスムーズに保育室に入る

要因	環境の整え	クラス全体の支援	個別の支援
① いつまでに保育室に入ればいいのか分からない。 ↓ いつまでに入室すればいいのか分かればよい。	タイムタイマーでいつまでに入室すればいいのか分かるようにする。		事前にタイムタイマーを使うことを話し、入室までの時間を一緒に決めておく。 タイムタイマーを見せ、励ましの言葉をかける。
② 気持ちがのらない。 ↓ 気持ちがのればよい。	おもちゃの絵カードを用意しておく。 選んだ絵カードは、タイムタイマーに貼っておく。	登所し、入室したらおもちゃで遊べる事を話す。	次の日の朝に遊びたいおもちゃを、前日に絵カードを使って選んでおく。 入室したら遊べることを話す。
③			

【計画のまとめ】
いつ
登所時
どこで
テラス
だれが
担任と担任以外
だれに
Rくん
何を
登所時にスムーズに保育室に入る支援
何回
準備物
タイムタイマー、おもちゃの絵カード

名前：Rくん （ 4歳 11か月）		市町名（ 入間市 ） 園名（ ）					
チェック項目 （１）登園、降園の支度や給食の準備等一連の動作が途切れやすいエピソード 登所時に園庭を走り回ったり、テラスに座り込んだりし、なかなか保育室に入ることができない。		要因 ① いつまでに保育室に入ればいいのかわからない。 ② 気持ちがおのらない。					
目標 自分の力でスムーズに着替えをする。							
期間	具 体 的 な 指 導 方 法		結 果 ・ 評 価				
	＜クラス環境の整えとクラス全体の支援＞	＜個別の支援＞  ＜前日＞  ・次の日の朝に遊びたいおもちゃを、絵カードを使って一緒に決めておく。  ・登所してから入室までの時間を一緒に決めておく。   ＜当日＞  ・タイムタイマーとおもちゃの絵カードを見せ、励ましの言葉をかける。  ・出来たことをほめる。	月日	○×	特記事項		
			1 / 6	○	スムーズに入室する		
			7	×	入室を嫌がる		
			8				
			1 2	×	テラスに座り込む		
			1 3	×	欠席、次の日の約束が出来なかった		
			1 4	×	次の日の約束を行う		
			1 5	○			
			1 8				
			1 9				
			2 0				
			評価日：			月	日（ ）： ～

# 要因と支援の相関表

<p>チェック項目</p> <p>(1) 登園、降園の支度や給食の準備など一連の動作が途切れやすい</p>
<p>エピソード</p> <p>登園時に園庭を走り回ったり、テラスに座り込んだりし、なかなか保育室に入ることができない</p>
<p>目標</p> <p>登園時にスムーズに保育室に入る</p>

要因	環境の整え	クラス全体の支援	個別の支援
<p>①</p> <p>気持ちがのらない</p> <p>↓</p> <p>気持ちがのればよい</p>	<p>おもちゃの絵カードを用意しておく。</p> <p>絵カードを貼る場所を一緒に決めておく。</p>	<p>入室したら遊べることを話す。</p>	<p>次の日の朝に遊びたいおもちゃを前日に絵カードを使って決め、指定の場所に貼りに行く。</p> <p>入室したら遊べることを話す。</p>
<p>②</p> <p>いつまでに保育室に入ればいいのか分からない。</p> <p>↓</p> <p>いつまでに入室すればいいか分かればよい。</p>			
<p>③</p>			

【計画のまとめ】 いつ 登所時 どこで テラス だれが 担任と担任以外  
だれに Rくん 何を 登所時にスムーズに保育室に入る支援  
何回 準備物 おもちゃの絵カード

名前：Rくん（ 4歳 11か月）		市町名（ 入間市 ） 園名（ ）			
チェック項目 （1）登園、降園の支度や給食の準備等一連の動作が途切れやすいエピソード 登所時に園庭を走り回ったり、テラスに座り込んだりし、なかなか保育室に入ることができない。		要因 ① 気持ちいがのらない。 ② いつまでに保育室に入ればいいのか分からない。			
目標 自分の力でスムーズに着替えをする。					
期間	具 体 的 な 指 導 方 法		結 果 ・ 評 価		
	＜クラス環境の整えとクラス全体の支援＞  ・入室したら遊べることを話す。	＜個別の支援＞ ＜前日＞ ・次の日の朝に遊びたいおもちゃを、絵カードを使って決める。 ・貼る場所を決め一緒に貼る。 ・入室したら遊べることを話す。  ＜当日＞ ・絵カードを貼った事、何のおもちゃで遊ぶのか等の話をする。	月日	○×	特記事項
			1 / 2 8	○	声掛けのみで入室。おもちゃで遊ぶことを、カードを見なくても覚えている。
			2 9	○	誕生日の為、調子がいい
			2 / 1	○	保育士と一緒に手洗いなど行い入室する。
			2	○	
			3	○	
			4	○	
			5	○	
			8	○	
			9	○	
			1 0	○	
			評価日：		

# 支援後の姿

- ・保育士の簡単な声掛けで、スムーズに入室できるようになった。

# 支援前の姿

- ・ いつもと違う生活の流れに戸惑ったり、嫌がったりする。また、次の活動を保育士に毎回聞きに来る姿がある。

# 要因と支援の相関表

<p>チェック項目</p> <p>（9）日課、習慣、場所、時間、道順などを変更しにくい</p>
<p>エピソード</p> <p>いつもと違う生活の流れに戸惑ったり、嫌がったりする。また、次の活動を保育士に毎回聞きに来る姿がある。</p>
<p>目標</p> <p>スケジュール表を見ながら安心して過ごす。</p>

要因	環境の整え	クラス全体の支援	個別の支援
<p>①</p> <p>何をするのか分からいから不安。</p> <p>↓</p> <p>何をするのか分かれば良い。</p>	<p>スケジュール表を用意しておく。</p>	<p>朝、その日の一日の流れをスケジュール表を使い、知らせる。</p>	<p>スケジュール表を一緒に見て一日の流れを確認する。</p>
<p>②</p> <p>言葉だけでは分からない。</p> <p>↓</p> <p>絵で見て分かるようにすれば良い。</p>	<p>活動の絵カードを用意しておく。</p>	<p>それぞれの活動の絵カードを見せながら話す。</p>	<p>それぞれの活動の絵カードを見せながら話す。</p>
<p>③</p> <p>忘れてしまう。</p> <p>↓</p> <p>いつでも見れるようにすれば良い。</p>	<p>いつでも見れる場所にスケジュール表を置いておく。</p>	<p>スケジュール表を置いておく場所を知らせる。</p>	<p>スケジュール表を置いておく場所を知らせる。</p>

【計画のまとめ】

いつ朝、登所した時

どこで保育室で

だれが

担任が

だれにRくんとクラスみんなに

何をスケジュール表を見せながら

安心して過ごす支援

何回10回

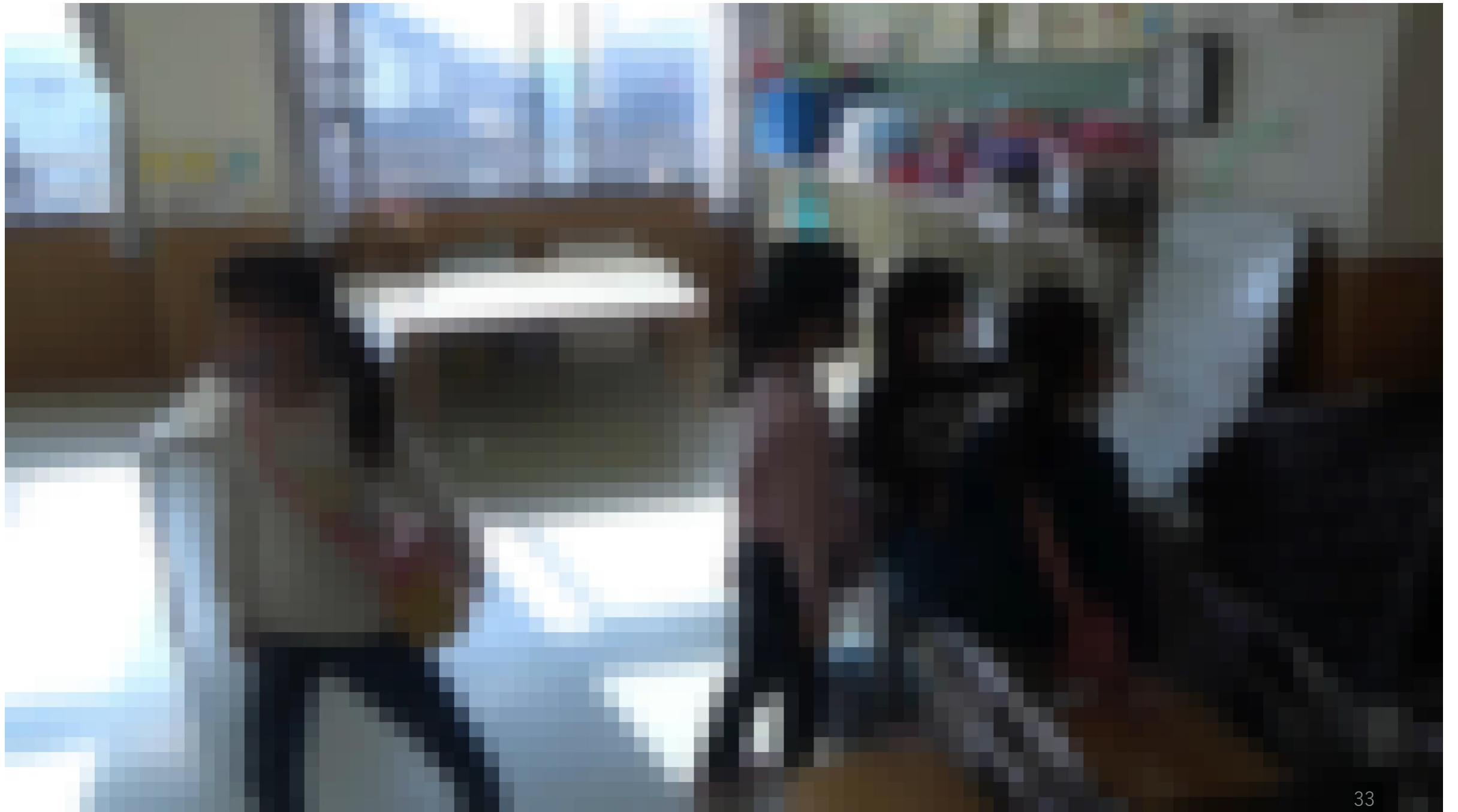
準備物

スケジュール表、活動の絵カード

名前：Rくん（ 5歳 1か月）		市町名（ 入間市 ） 園名（ ）			
チェック項目 （9）日課、習慣、場所、時間、道順などを変更しにくい エピソード いつもと違う生活の流れに戸惑ったり、嫌がったりする。また、次の活動を保育士に毎回聞きに来る姿がある。		要因 ① 何をするのか分からないから不安 ② 言葉だけではわからない ③ 忘れてしまう			
目標 自分の力でスムーズに着替えをする。					
期間	具 体 的 な 指 導 方 法		結 果 ・ 評 価		
	＜クラス環境の整えとクラス全体の支援＞ ・スケジュール表と活動の絵カードを用意しておく。  ＜登所する＞ ・朝、その日の一日の流れを、スケジュール表を使い、知らせる。 ・それぞれの活動の絵カードを見せながら話す。 ・スケジュール表を置いておく場所を知らせる。 ・いつでも見れる場所にスケジュール表を置いておく。	＜個別の支援＞  ・スケジュール表を一緒に見て、一日の流れを確認する。 ・それぞれの活動の絵カードを見せながら話す。 ・スケジュール表を置いておく場所を知らせる。	月日	○×	特記事項
			3 / 1	○	スケジュール表に興味を持ちよく見ていた。
			2	○	いつもと違う流れで外に行くのを嫌がる。スケジュール表を見ると納得し行くことができる。
			3	○	
			4	○	文字を一つ一つ読み確認していた。
			5	○	スケジュール表をじっくりと見ていて、朝の支度がなかなか進まない。
			8		欠席
			9	○	朝のあつまりができなかった。その事に気づき、保育士に「やってないよ」と言いに来る。
			1 0	○	特別な活動がいくつもある日だったが、保育士と一緒にスケジュール表を確認し行動できる。
			1 1		
			1 2		
			評価日： 3月 15日（月）10：00～		

32





# ※インシデントプロセス法

質問をすることで情報を収集し、それに基づいて問題を分析し、対策を考える。  
「事例提供者の準備が大変」「関係しない参加者が意欲的に参加できない」を  
解決する方法。できるだけ準備や手間をかけないで進める方法。

## ●進め方

### ①事例提供

### ②情報収集

### ③対応策、方針

- ・具体案「私ならこうする」というアイデアを発表する

### ④事例提供者の感想

- ・お礼
- ・今回学んだこと
- ・感想

# ※インシデントプロセス法

質問をすることで情報を収集し、それに基づいて問題を分析し、対策を考える。  
「事例提供者の準備が大変」「関係しない参加者が意欲的に参加できない」を  
解決する方法。できるだけ準備や手間をかけないで進める方法。

## ②情報収集

### 〈参加者〉

- ・簡潔に、具体的に質問する
- ・質問を独占しない
- ・他参加者と協力して関連した質問をする
- ・重複した質問は避ける
- ・回答中に割り込んで質問しない
- ・解決に関係があると思われる事実を集める
- ・今後の対応については質問しない
- ・パスもあり

### 〈事例提供者〉

- ・事実を簡潔に回答する
- ・質問から外れた回答はしない
- ・推測、意見は原則言わない
- ・推測を答える時は、その根拠となる事実や理由を簡潔に説明する
- ・今後の対応については言わない

# 【①事例提供】

•

## 【②情報収集】

•

## 【②情報収集】

•

## 【③対応策、方針】

「私ならこうするというアイデア」

・

## 【③対応策、方針】

「私ならこうするというアイデア」

・



## 【④事例提供者の感想】

- ・ お礼
- ・ 今回学んだこと
- ・ 感想

# 【全体的なコメント】

国立障害者リハビリテーションセンター  
発達障害情報・支援センター  
畠山 和也 教育・福祉連携推進官

2020年

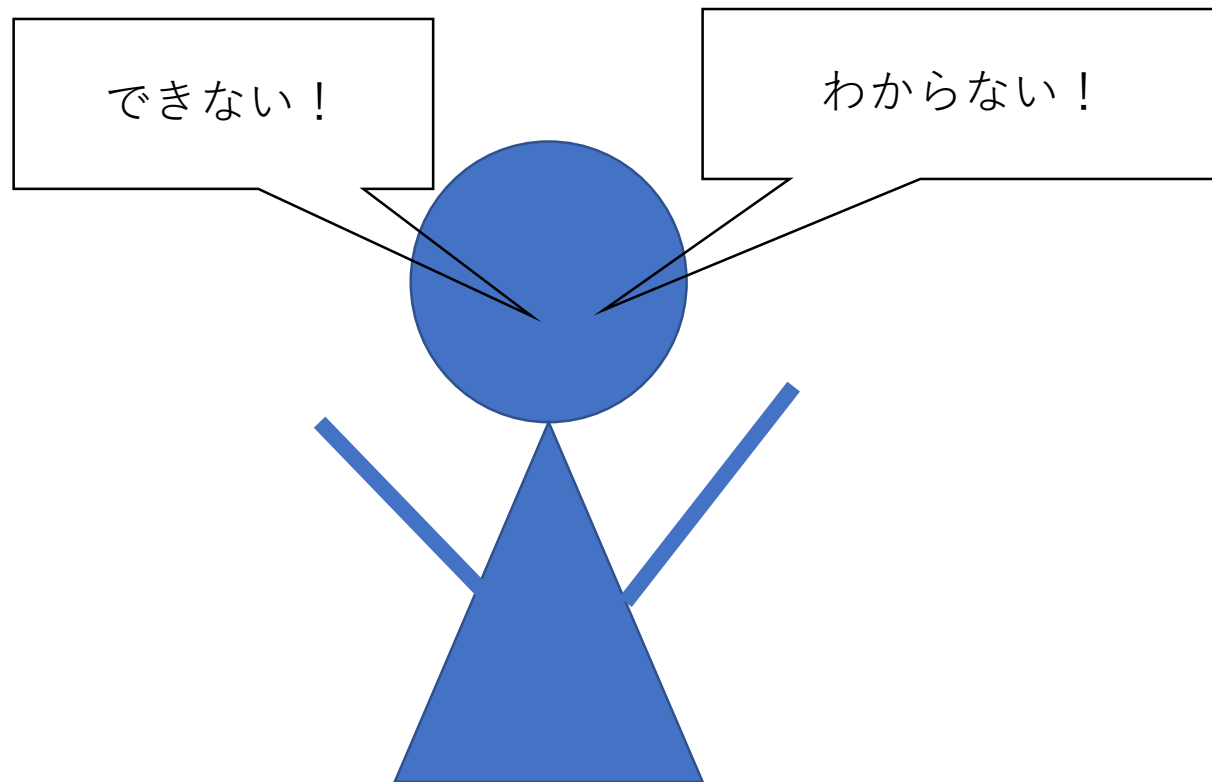
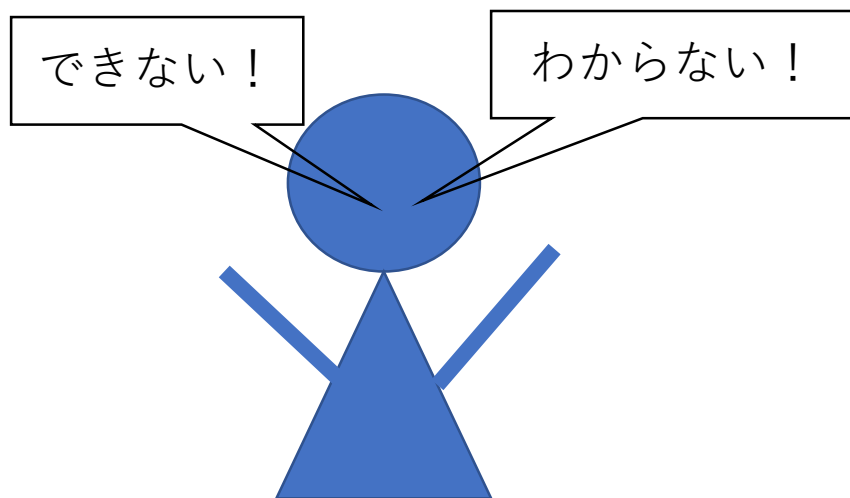
# 途切れのない発達支援

## ～保育・教育に求められる目利き・腕利き～

NPO法人ライフ・ステージ・サポートみえ  
中村みゆき

「発達支援」の用語は、障害のある子ども（またはその可能性のある子ども）の発達上の課題を達成させていくこと  
の他、家族支援、地域支援を包含した概念

障害児支援の在り方に関する検討会（2016）  
今後の障害児支援の在り方について（報告書）  
～「発達支援」が必要な子どもの支援はどうあるべきか～



環境が変わらなければ、そのまま大きくなる。

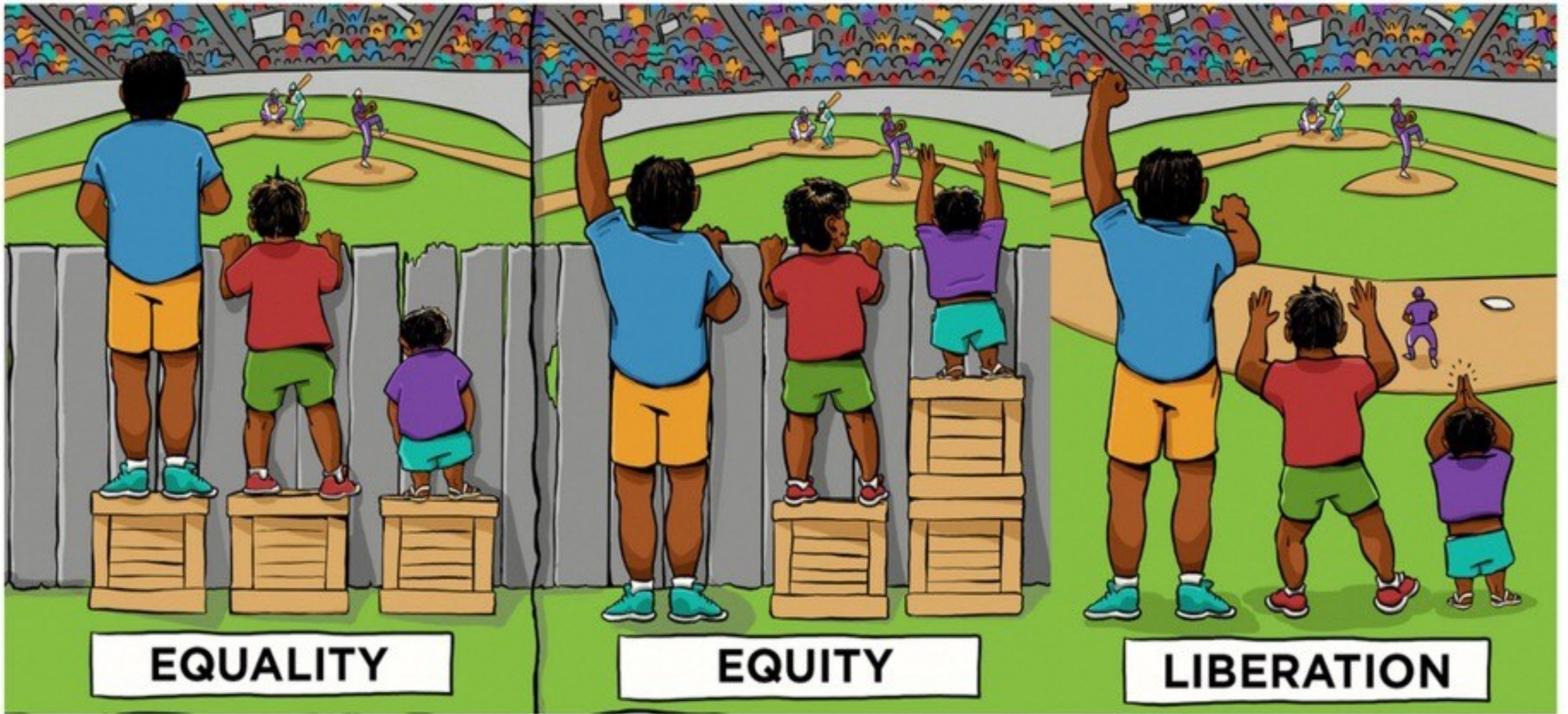
できたね

わかる環境 できる環境

すごいね

『目利き（観察力）』と『腕利き（支援力）』  
C L Mと個別の指導計画の活用

後追いではなく、手を引っ張るではなく、  
事前の準備



出典: Imgur.com

子どもの発達について理解し、一人一人の発達過程に応じて保育すること。その際、子どもの個人差に十分配慮すること。  
(保育所保育指針より)

保育士は保育のプロ



# NHKプロフェッショナル仕事の流儀

手術をキメられるか、キメられないかっていう一番の大きな要因は、手術前の準備。9割が手術前で決まっていて、手術は変な話、手術前に終わっている。

小児科医 山高 篤行



プロフェッショナルとは、妥協を許さない準備、反省をする人、そして、仕事を完璧にキメないと自分を許せない人だと思います。

手術を**保育**に置き換えると・・・

**保育**をキメられるか、キメられないかっていう一番の大きな要因は、**保育**前の準備。9割が**保育**前で決まっていて、**保育**は変な話、**保育**前に終わっている。



早期発見は、親、保健師、保育所保育士、教員等。  
診断は、医師。早期支援は・・・担任の先生。



どのように対応してよいかわからない、今後の対応を助言してほしいなどと思うときは、**十中八九、アセスメントが弱い**ときです。近藤直司（2015）『アセスメント技術を高めるハンドブック第2版』明石書店



多職種との連携

要注意

## 連携を邪魔するもの

- ・現場を知らないで連携しようとするコーディネーター  
(コーディネーターの空回り、ネットワークが形骸化する)  
→本人中心、Person Centered Planの鉄則
- ・経験年数や専門性、幹部職などの肩書き  
(立場を変えない、1つの方法論にこだわる)  
→本人中心の支援をチームで考え、実践、評価する
- ・既定路線、職務分掌などの組織論  
(組織ありきで考え、利用者のニーズや満足から乖離する)  
→時として、多少オーバーラップ気味であることが必要

巡回にあたり、立ち位置を明確にする。  
指導や助言ではなく、後方支援。

一緒に考え、一緒に子どもの成長をよろこぶ。